

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年1月21日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐藤 肇
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 石塚 敬之
担当 早川 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2019年度(令和元年度)決算 特別養護老人ホーム(従来型・ユニット型) の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2019年度の特別養護老人ホーム(従来型・ユニット型)の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiga-tabid-1976/>

1. 調査の概要

■調査時点	毎年1回(決算データ)
■集計施設	特別養護老人ホーム 従来型(1,934拠点)、ユニット型(3,222拠点) ※併設短期入所を含む分析
■調査目的	機構融資先の債権管理の一環

※経営分析参考指標(2019年度決算分)(有料)の販売については、現在予約申込受付中です。

2. 2019年度決算の概要

- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は、従来型とユニット型共に前年度比横ばいであった。また、サービス活動収益対人件費率については、従来型では65.2%と前年度比横ばい、ユニット型では62.2%と前年度より0.3ポイント上昇している。
- なお、利用者1人1日当たりサービス活動収益は従来型で11,963円と前年度より149円上昇、ユニット型で14,135円と前年度より180円上昇している。
- また、従事者1人当たり人件費も従来型で4,380千円と前年度より57千円上昇、ユニット型で4,102千円と前年度より94千円上昇している。
- 利用率については、従来型で特養入所94.0%と前年度より0.6ポイント低下、ユニット型では特養入所94.3%と前年度とほぼ同水準であった。
- 赤字施設(経常増減差額が0未満)の割合は、従来型が34.0%と前年度とほぼ同水準、ユニット型は28.2%と前年度より0.9ポイント減少している。

以上